

平成17年度事務事業評価表

担当	上下水道部	水道工事課	内線等	2212
事業コード		事務事業名	漏水防止対策事業	
根拠法令等			A法令 B条例 C規則 Dその他	Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
快適でやすらぎのあるまちづくり	水資源

②事務事業の内容

対象(受益者)	送・配水管及び給水管の
手 段	漏水箇所を早期発見とそれを修繕することにより
想定する成果	有収率の向上をはかる

③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
漏水調査延長	1 1 7 km	1 1 5 km	1 2 0 km
漏水調査戸数	6, 2 1 0 戸	5, 6 1 8 戸	5, 6 4 0 戸
漏水発見箇所	2 6 箇所	1 9 箇所	2 0 箇所

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標名	有収率	漏水発見件率
成果指標の説明	給水量／配水量×100	漏水発見箇所／漏水調査戸数×100

⑤事業の進捗状況 (水道企業会計) (千円)

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	94.0%
	実績	95.9%	95.0%	—
成果指標 ②	計画	—	—	—
	実績	0.4%	0.3%	0.4%
事業費	事業費	4,200	4,620	4,900
	人件費	4,864	4,059	5,612
	(人数)	0.6	0.5	0.7
	合計	9,064	8,679	10,512
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	9,064	8,679	10,512

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	水道工事全てにおいて、漏水防止を図っている。
経済効率性	2	2	老朽管全ての布設替は不可能であるが、順次新しい管に更新して行く。
事務効率性	2	2	漏水は規模・件数も予測ができないが、即対応できる体制が必要である。
必要性	3	3	有収率の向上のため、必要な事業である。
小計	10 /12 満点中	10 /12 満点中	
市民参加度	2	2	市民からの漏水通報により発見することが多い。
合計	12 /15 満点中	12 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	有収率向上のため、漏水防止に努める。
------	---	---	--------------------

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
市内を7地区に区切って実施していた漏水調査を5地区に変更し早期発見に努めた。 漏水や濁水の原因となる老朽配水管の更新を積極的に実施している。	(発見された漏水を1年間放置した場合の水道料金－漏水調査費用) 5,900千円

⑧今後改善すべき点

道路分給水管漏水が多い為、接続部分を少なくする必要があり、漏水修繕時に可能箇所から新方式に取替する。
--

⑨平成19年度予算に反映する項目

--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ ~~現状維持~~ ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	上下水道部	水道工事課	内線等	2212
事業コード		事務事業名	配水場等維持管理事業	
根拠法令等	水道維持管理指針	A法令	B条例	C規則
			Dその他	Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
快適でやすらぎのあるまちづくり	水資源

②事務事業の内容

対象（受益者）	配水場等の施設を
手 段	維持管理することにより
想定する成果	水道水の安定給水を図る。

③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
配水場	15配水場26池	15配水場26池	14配水場25池
ポンプ場	8ポンプ場	8ポンプ場	8ポンプ場
維持修繕費	22,479千円	22,193千円	25,223千円

④成果指標

成果指標名	①	②
費用負担率		施設の稼働停止回数
成果指標の説明	事業費／水道事業費×100	配水場・ポンプ場の稼働停止回数

⑤事業の進捗状況（水道企業会計）（千円）

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	2.7%
	実績	2.7%	2.6%	—
成果指標 ②	計画	—	—	10件
	実績	9件	10件	—
事業費	事業費	22,479	22,193	25,223
	人件費	23,507	25,166	25,654
	(人数)	2.9	3.1	3.2
	合計	45,986	47,359	50,877
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	45,986	47,359	50,877

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	年間を通じ配水池及びポンプ場が適正に稼動できた。
経済効率性	3	3	施設を常に点検することにより、不具合を早期に発見でき事故に対する対応が早い。
事務効率性	2	2	専門的知識が必要であり多分野に精通する必要がある。
必要性	3	3	水道供給者として、安定給水に必要な不可欠な事業である。
小計	11 / 12 満点中	11 / 12 満点中	
市民参加度	—	—	
合計	11 / 15 満点中	11 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	施設の老朽化が進んでいる場所もあり、施設更新計画を立て維持管理していきたい。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
各施設の草刈等簡易な維持管理は、現業職員で実施し費用の低減を図っている。 各種点検を実施し、機器の重大な事故にならないよう常に監視している。	(各施設の草刈等を業者委託した場合と現業職員で実施した場合との差額 7回/年) 1,680千円

⑧今後改善すべき点

各配水場・ポンプ場制御機器の更新整備計画を作成し、安定給水を図る。

⑨平成19年度予算に反映する項目

水位計等検出機器の老朽化した施設を改良し、施設の監視を充実。

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	上下水道部	水道工事課	内線等	2212
事業コード		事務事業名	水質管理事業	
根拠法令等	水道法		A法令 B条例 C規則 Dその他 Eなし	

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
快適でやすらぎのあるまちづくり	水資源

②事務事業の内容

対象(受益者)	市民に給水する水道水について
手 段	水質検査を実施し、残留塩素濃度を確認し適正濃度にするため、次亜塩素酸ソーダを注入することにより
想定する成果	衛生的で安全な水道水を供給する。

③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
毎日検査(4項目)	市内9箇所×306回/年	市内9箇所×365回/年	市内9箇所×365回/年
毎月検査(9項目)	市内9箇所×12回/年	市内9箇所×12回/年	市内9箇所×12回/年
25項目・全項目検査	市内3箇所×4回/年	市内3箇所×4回/年	市内3箇所×4回/年

④成果指標

成果指標名	①	②
	成果指標の説明	毎日及び毎月検査適合率 適合件数/全件数×100

⑤事業の進捗状況 (水道企業会計) (千円)

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標①	計画	—	—	100.0%
	実績	100.0%	100.0%	—
成果指標②	計画	—	—	100.0%
	実績	100.0%	100.0%	—
事業費	事業費	3,660	5,116	5,513
	人件費	7,295	8,118	8,819
	(人数)	0.9	1.0	1.1
	合計	10,955	13,234	14,332
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	10,955	13,234	14,332

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	検査結果は100%である、残留塩素濃度が下回らないようにする為の調整は常にしている。
経済効率性	2	2	浄水場よりの残留塩素濃度により、増し注入量の変動が生じる。
事務効率性	2	2	専門知識が必要な事務事業である。
必要性	3	3	水道法で規定されており検査は不可欠である。
小計	10 / 12 満点中	10 / 12 満点中	
市民参加度	3	3	日常生活において、市民に直接影響する事業である。
合計	13 / 15 満点中	13 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	安全でおいしい水を供給する為、必要不可欠な事業である。
------	---	---	-----------------------------

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
毎日検査において、土・日・休日の検査体制を委託契約にて対応。 次亜塩素の検出機器及びコントローラの導入により適正注入量による運転が図られた。	

⑧今後改善すべき点

均一な水質管理（残留塩素濃度）のため、次亜塩素酸ソーダの分散注入化を図る。 専門分野である水質検査機器のメンテナンス費用の低減を図るため、検査項目の一部を委託業務化を検討。

⑨平成19年度予算に反映する項目

浄水場廃止に伴い、県水受水の次亜塩濃度低下が予想され、次亜塩素酸ソーダ購入量の増加。
--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	上下水道部	水道工事課	内線等	2217
事業コード		事務事業名	配水管網整備事業	
根拠法令等		A法令	B条例	C規則
			Dその他	Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
快適でやすらぎのあるまちづくり	水資源

②事務事業の内容

対象(受益者)	送・配水管について
手 段	布設、布設替(更新)をすることで
想定する成果	未配管地区及び漏水事故の減少、耐震性の向上等による安定給水を図る

③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
布設	延長 L = 349m	延長 L = 664m	延長 L = 900m
布設替(更新)	延長 L = 2,649m	延長 L = 5,065m	延長 L = 1,635m
事業費	152,808千円	298,545千円	289,800千円

④成果指標

成果指標名	①	②
更新率		耐震化率
成果指標の説明	累計更新延長/更新計画延長×100	耐震化済延長/全布設延長×100

⑤事業の進捗状況 (水道企業会計) (千円)

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	44.7%
	実績	26.1%	40.2%	—
成果指標 ②	計画	—	—	5.0%
	実績	3.5%	4.5%	—
事業費	事業費	152,808	298,545	289,800
	人件費	6,484	9,741	8,819
	(人数)	0.8	1.2	1.1
	合計	159,292	308,286	298,619
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	159,292	308,286	298,619

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	計画どおり進捗している。
経済効率性	3	3	職員による測量、設計製図で、経費の節減を図っている。
事務効率性	3	3	専門知識が必要な事務事業である。
必要性	3	3	安全で、安定した給水をすることが、事業者の責務である。
小計	12 / 12 満点中	12 / 12 満点中	
市民参加度	1	1	漏水、濁水等の通報箇所を施工順位に考慮している。
合計	13 / 15 満点中	13 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	耐震化に投下できる費用には限りがあり、全ての管路を耐震化することは困難であるため、耐震化の推進には適切な優先順位を定め効率的な施設整備に努める。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
全ての直管に内面粉体塗装管の採用及び耐震継手管採用口径の拡充（H17より150mm以上）	（管種変更に伴い、洗管放水に係る1年間の人件費＋放水水道料金） 330千円

⑧今後改善すべき点

水質管理及び工事費の節減を考慮し、最適口径の検討

⑨平成19年度予算に反映する項目

防災整備計画に基づき、最重要施設の更新

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	上下水道部	水道工事課	内線等	2212
事業コード		事務事業名	代用配水管事業	
根拠法令等	蒲郡水道事業給水条例	A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
快適でやすらぎのあるまちづくり	水資源

②事務事業の内容

対象(受益者)	未給水者に
手 段	給水区域内で配水管の未施行箇所給水希望者に代用配水管を設置することにより
想定する成果	未給水者の減少をはかる。

③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
発注件数	40件	38件	40件
施工延長	1,276m	1,083m	1,200m
申込戸数	66戸	86戸	80戸

④成果指標

成果指標名	① 普及率	② 事業割合
成果指標の説明	給水人口/行政人口×100	事業費/工事請負費(増補)×100

⑤事業の進捗状況 (水道企業会計) (千円)

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標①	計画	—	—	99.7%
	実績	99.6%	99.7%	—
成果指標②	計画	—	—	5.8%
	実績	6.1%	4.1%	—
事業費	事業費	27,090	22,494	34,000
	人件費	5,674	4,871	4,810
	(人数)	0.7	0.6	0.6
	合計	32,764	27,365	38,810
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	32,764	27,365	38,810

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	申し込みに対して、全て対応している。
経済効率性	3	3	職員による設計で対応し、経費の節減を図っている。
事務効率性	2	2	申し込みにより事業量の変動するため、対応が難しい。
必要性	3	3	給水区域内全てに配水管網が布設されていない限り、市民へのサービスのためには必要な事業である。
小計	11 / 12 満点中	11 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	近年は郊外に住宅を求める人が増え、要望が多い。
合計	13 / 15 満点中	13 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	申込者からの要望に十分対応している。
------	---	---	--------------------

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額 (土工事費用の低減)
道路の占用条件の緩和により、埋設深さを90cmから70cmに変更し経費の節減を図った。 安定給水に努めるため、基本口径をφ50mmとした。	890千円

⑧今後改善すべき点

配水管網の充実を図り、代用配水管の施行量減少させる。

⑨平成19年度予算に反映する項目

--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】